

## 株式上場にあたり皆様へ

この度、株式会社フーディソンは東京証券取引所グロース市場に新規上場いたしました。これもひとえに皆様の温かいご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

私の人生の最大のテーマは「人の出会いとつながり」です。  
フーディソンの創業も東北のさんま漁師との出会いから始まります。

さんまは、埼玉県出身の私にとって数少ない知っている魚の一つでした。  
「儲からないから息子には継がせない」  
そのさんまを水揚げする漁師が儲かっておらず、息子さんに引き継ぎもしないという言葉に衝撃を受けました。

創業にあたり私の人生の尺を超えた100年、200年と継続する会社を創りたいと考えていた中で、世界で最も魚食が普及している日本において、漁師の職業としての実状と産業の衰退を伺ったことで、生鮮流通の社会課題を知り、人の生活をよりよくできる大きなテーマとして私自身がのめり込んでいきました。

とはいえ、業界未経験から始めてすぐに成立するほど楽な業界ではありません。振り返ると苦難の連続でしたが、その度に必ず手を差し伸べてくださる方との出会いがありチャレンジし続けることができました。初めてお客様からご注文をいただいて築地市場で仕入れをしたこと、電車で発泡スチロールを抱えて配送したこと、sakana baccaを通じて魚が好きになったと嬉しそうに話すお母様に会ったことなど、未だに忘れられない記憶です。

「世界の食をもっと楽しく」というフーディソンのミッションの元で、様々な出会いに導かれてたどり着いたのが「生鮮流通に新しい循環を」というビジョンです。生産と流通と消費をテクノロジーでつなぐプラットフォームを創り出すことで、無理・無駄・ムラのないサステナブルな世界が実現できると確信しています。

この世界の実現はまだ道半ばですが、多くの取引先様、利用者様や従業員と出会い、つながりを持たせていただきました。その一つ一つがかけがえのないものであり、弊社が成長する過程に欠かせないものでありました。

デジタル化が進んでいない生鮮流通には、まだまだ新しい出会いとつながりがあると期待しています。今回の株式上場を機に、より多くの出会いを求め、つながりを一層発展させていきたいと考えております。

ここに謹んでご挨拶申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社フーディソン  
代表取締役CEO

山本徹